

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

平成 27 年度技術・標準化合同委員会を開催

平成 27 年 6 月 27 日 (水) 14:00 から 16:50 までの間、技術委員会と標準化委員会が、合同で技術・標準化合同委員会を開催しました。この委員会の委員長は慣例的に当会の会長が就任することになっており、梶本技術・標準化委員長により全体の議事が進められました。初めに梶本委員長の開会の挨拶あり、以下のような趣旨のお話がありました。「国内は、日銀がとりまとめた「経済・物価情勢の展望」でも、今年から来年にかけて潜在成長率を上回る成長が続くと見込まれております。なかでも設備投資は、アベノミクスの効果に加えて、経産省による設備投資促進策の効果、そして円安も加わり、国内製造業は今後の成長に向けた投資に動いており、先行きは大いに期待できるものと考えられます。一方、海外を見ま



技術・標準化合同委員会

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

技術・標準化合同委員会開催・・・・・・・・・・1	技術調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
委員会開催・活動状況	広報・PR 事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
国際交流事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・2	振興対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
標準化事業/ISO 対策事業・・・・・・・・・・2	会員ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
標準化事業/規格事業・・・・・・・・・・3	工業会ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
	統計資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.japan-fluid-power.or.jp/>

すと、米国経済は、家計部門の堅調さが企業部門を牽引し、引き続きしっかりと成長が見込まれます。また、欧州経済は、ギリシャ債務問題などのリスクは依然として見え隠れしておりますが、欧州中央銀行による金融緩和策等を背景に、ドイツを中心にして明るさが見えつつあります。一方の中国経済は、引き続き成長が見込まれるものの、製造業の過剰設備問題や不動産市況の低迷等から成長の鈍化が見込まれ、リスクが高まったように見えます。フルードパワー産業の本年度の需要環境を見ますと、空気圧機器は明るさが期待されておりますが、油圧機器は先にも述べた中国の不動産市況の低迷による建設機械の過剰在庫問題があり、厳しさが予想されております。

経済のグローバル化が急速に進展しており、私たちフルードパワー業界においても、海外景気の影響は避けられず、むしろ積極的な対応が求められているように感じております。このような状況から、ISO や JIS、団体規格等の作成や改廃を審議している標準化委員会、そしてフルードパワーシステム学会との産学連携事業の推進、水圧技術（ADS）の普及促進及び Rohns 規制や Reach 規制等を審議いただいている技術委員会の皆様にも、一段と活発な活動を期待しております。

次に、宮川技術委員長の挨拶として、「油圧技術動向の話題から、効率を上げたという技術者にエネルギー効率はどうかと尋ねるとエネルギーは 0%アップしましたと答える。それではだめで、エネルギー消費を下げた上で効率を上げるのが本筋である」という含蓄に富んだ話がありました。

次に参加各委員による自己紹介が行われ、その後、事務局より、イ) 配付資料の確認、ロ) 技術・標準化委員会の構成、ハ) 委員登録について説明を行いました。続いて、技術委員会の活動報告に移り、宮川技術委員長の司会で、技術委員会傘下の油圧部会、空気圧部会、水圧部会、産学連携懇談会及び空気圧特許分科会の順で平成 26 年度の活動報告及び平成 27 年度の活動計画の内容説明が行われ、審議の結果特に問題なく承認されました。次に、梶本会長の司会に戻り、標準化委員会傘下の ISO 国内対策部会及び規格部会の平成 26 年度の活動報告並びに平成 27 年度活動計画の内容説明が行われ、審議の結果こちらも特に問題なく承認されました。引き続き、両部会傘下の 20 の分科会について各主査より平成 26 年度活動報告及び平成 27 年度活動計画について説明があり、こちらも滞りなく報告・審議が行われ、特に問題なく承認されました。また、フルードパワーの世界～追補版 アンケートのまとめについて、事務局から説明を行いました。

最後に、梶本会長より、今後のフルードパワーの活性化、産学連携の在り方や技術標準化委員会のあり方について問題提起があり意見交換を行いました。当日の会議には、梶本新会長以下 24 名の委員が参加しました。

その後、梶本会長を囲み懇親会を開催し和気あいあいのうちに散会しました。

委員会開催・活動状況報告 (詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

#### 国際交流事業

~~~~~

国際委員会及び講演会

日 時 6月24日(水) 14:30 ~ 17:00

場 所 機振会館 6F 6D-3 会議室

出席者 澤田委員長以下 24 名 (含. 講演会参加)

事務局 藤原、堀江

議 事

定刻に澤田部会長から開会の挨拶があり、その後、経済産業省・競争環境整備室・小池麻友子様をお招きして「競争法（独禁法）コンプライアンス体制整備に向けた取組について」のテーマで講演会を開催しました。日本企業に対する各国の競争法執行状況、最近の傾向と留意点、取組の具体例などについて講演がありました。その後、事務局から平成 26 年度の事業報告と平成 27 年度の事業計画について詳細な説明を行い審議の結果承認されました。

なお、平成 27 年度事業計画のうち「海外見本市への参加の可否について」の事前のアンケート調査結果では、PTC - ASIA2015 の出展予定社は 2 社、MDA - INDIA2015 の出展予定社も 2 社であり、現行では参加見送りの方向であるが、未だ時間もあることから 7 月末をめどにさらに参加社を募ることとしました。

その後、各社の最近の海外事情や海外市場動向等に関する報告がありました。

次回開催：12 月中旬

~~~~~

#### 標準化事業／ISO 対策事業

~~~~~

ISO/TC131/SC4 (継手ホース) 分科会

日 時 6月12日(水) 13:30 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 1-3 会議室

出席者 宮下主査以下 7 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、投票に掛かっている CD 6605, NP11672 及び DTS18409 について審議した。CD 6605 については不明な点があるのでコメントを6月中にまとめて投票する。NP11672 については特にコメントはなく、DTS 18409 には問題点があるので7月中にコメントをまとめて投票することにした。続いて、ISO/TS 17165-2 を基にした工業会規格化について検討し、和訳文とホース金具工業会の現行規格とを比較構成にしたものを検討審議した。

今回で、主査として活動して頂いた横浜ゴムの宮下委員が板井委員に交代することになった。それに伴い、ブリヂストンフローテックの中林委員に主査をお願いした。

次回開催：9月9日（水）機振会館 1-3 会議室

平成 27 年度技術・標準化合同委員会

日 時 6月17日（水）14:00～16:50

場 所 機振会館 6D-4 会議室

出席者 梶本会長以下 24 名

事務局 藤原、千葉、大橋

議 事

(1 頁参照)

ISO/TC131/WG4（空気圧信頼性試験）分科会

日 時 6月23日（火）13:30～16:00

場 所 機械振興会館 B3-6 会議室

出席者 高橋主査以下 6 名

事務局 千葉

議 事

各委員の自己紹介を行った後、姉尾委員より昨年5月開催の ISO/TC131/WG4 ミルウォーキー会議、10月開催のロンドン会議及び本年5月開催の沖縄会議の会議報告及び内容説明があり、現時点での状況を確認した。続いて、現在投票に掛かっている ISO/FDIS19973-1、-2、-3 及びの-5.2 の審議を行った。投票期日の迫っている Part1 は今回の審議結果を基にコメントを作成し投票する。

次回開催：未定

空気圧バルブ分科会

日 時 6月25日（木）13:30～16:00

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 土澤主査以下 7 名

事務局 千葉

議 事

主査より、技術・標準化合同委員会について報告があった。続いて、丸山委員より ISO 沖縄国際

会議について報告があった。

次に、投票に掛かっている ISO/FDIS 19973-2, NP 12238 及び定期見直しの ISO 4400, ISO6952 について審議した。

続いて、今年度も引き続き検討テーマとなる最低作動圧力の確認方法について前回議事録及び主査が用意したまとめに沿って検討、審議した。
次回開催：8月20日（木）機振会館 1-5 会議室

空気圧調質機器分科会

日 時 6月26日（金）13:30～16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 小田主査以下 4 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、主査より、技術・標準化合同委員会及び ISO 沖縄国際会議について報告があった。ISO 沖縄国際会議において求められた、サイレンサーのラウンドロビン試験仕様に関して討議した。続いて、ISO 6301-2 の定期見直し投票で提出したコメントの内容について説明があった。最後に、ISO 10094-1 の翻訳文について検討審議した。

次回開催：8月28日（金）機振会館 1-5 会議室

投票に付されている ISO 規格案

(TC131)

ISO/DIS 11943 Hydraulic fluid power -- On-line automatic particle-counting systems for liquids -- Methods of calibration and validation

ISO/FDIS 18869 Hydraulic fluid power -- Test methods for couplings actuated with or without tools

~~~~~

標準化事業/規格事業

~~~~~

空気圧システム分科会

日 時 6月1日（月）13:00～16:00

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 張主査以下 5 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、改訂版リスク低減に関するガイドブック（JIS B 8370:2013 準拠）案について継続審議した。

次回開催：7月31日（金）機振会館 1-5 会議室

エアドライヤ分科会

日時 6月5日(金) 13:30～16:30
場所 工業会会議室
出席者 那須主査以下4名
事務局 千葉
議事

前回議事録の確認後、工業会規格として検討中の「エアドライヤの選定及び使用指針」について、配布資料案をもとに検討した。

次回開催：10月16日(金) 工業会会議室

JIS 原案作成本委員会

日時 6月8日(月) 14:00～16:00
場所 機械振興会館 6-61 会議室
出席者 香川委員長以下12名
事務局 千葉
議事

香川委員長(東京工業大学教授)の開会挨拶の後、次のJIS原案の審議に入った。

*JIS B 8390-1 空気圧-圧縮性流体用機器の流量特性試験方法-第1部:通則及び定常流れ方法

この原案について、各委員からの指摘事項を審議し、MODに変更したうえ、指摘事項を修正する。

委員に修正案を配布し、書面審議後、規格協会へ提出することとした。

フィルタ作動油分科会

日時 6月11日(木) 13:30～16:50
場所 機械振興会館 1-5 会議室
出席者 一楽主査以下7名
事務局 千葉
議事

JIS B 9932について経済産業省機械要素技術専門委員会における審議のため、5月27日に行われた同委員会には難波委員と水上委員が出席して対応した。いくつかの指摘及び質問があったが、変更なく承認されたことが報告された。

JIS B 8356-1(ISO 11170)見直し案については、(H27年度区分C:12月スタート)に登録することを確認した。作業は12月になってから始めることにした。

旧工業会規格 JOHS113 「油圧システムの汚染管理に関する用語」の見直しに入った。番号 101～120:大塚委員担当部分の検討を終了した。

次回開催：8月27日(木) 機振会館 1-5 会議室

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

技術委員会水圧部会

日時 6月19日(金) 14:00～17:00
場所 機械振興会館 B3-9 会議室
出席者 宮川部会長以下7名
事務局 大橋
議事

宮川部会長の挨拶の後、議事に入った。

① IFPEX2014 来場者調査結果のまとめ

井口 GL から、市場マップの各領域に対する分野名・装置名を再確認し、それぞれ来場者からヒアリングした情報を見直してより明確にした表が説明された。その結果、土壌汚染の回避等を狙いとした使用目的がクローズアップされた。さらに、現行市場マップにない分野名・装置名等も出てきているため、それらを再整理してバージョンアップを図ることとなった。

② H.P. 及びブログ更新と今後の広報活動

村田 GL から、4月～6月間のブログへのアクセス解析結果の紹介、また、サプライヤー紹介シリーズの開始、展示会出展情報の追加が画面で披露された。H.P.については、委員から技術資料の早期再掲載の要望が出された。

事務局から機関誌の新製品紹介枠に新たに2社の広告が掲載されるとの報告があり、広報活動としての機関誌の活用が促された。

③ 平成27年度活動計画

洗浄総合展(12月開催、申込み締切7月)への出展希望を井口 GL がアンケートし、結果により日刊工業新聞社との調整を進めることとなった。

部会長から、ADS 国際標準化推進プロジェクトが発足し第1回委員会を6月30日(火)に開催するとの報告があった。

④ その他

展示会出展報告が以下の2社からあった。

FOOMAJAPAN (KYB)、

タイ展示会(廣瀬バルブ工業)

次回開催：8月21日(金) 機振会館 B3-9 会議室

技術委員会空気圧部会第512回特許分科会

日時 6月26日(金) 13:00～17:00
場所 京都府総合見本市会館 第6会議室
出席者 赤松幹事以下6名
事務局 吉田
議事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について継続審議中の1件については、見解書が提出され、再度調査を行うこととした。1件については新たな証拠の提出があり引き続き調査を行うこととした。もう一件については新たな証拠の提出はなかつ

たが調査を継続とした。

また特許庁見学を行うこととし、日程の調整を行った。

次回開催：7月31日（金）機振会館6-61会議室

ADS 国際標準化推進委員会

開催日 6月30日（火）14～17

場 所 機械振興会館5S-4会議室

出席者 山口委員長以下15名

事務局 藤原、千葉、大橋

議事

出席委員の自己紹介の後、議事に入った。

1. プロジェクト発足経緯など

事務局より、「平成27年度エネルギー使用合理化国際標準化推進事業委託費」の公募に対し「省エネ型水圧システムに関する国際標準化」が採択されるに至った経緯及び標準化の必要性・有効性等について説明を行った。また、今後3年間の事業を、大学側委員と企業側委員で構成される当委員会にて推進してほしい旨、要請した。

2. 山口委員長 挨拶

水圧関係の研究委員会に長年にわたり関与しておられる横浜国立大学の山口惇名誉教授から、委員長就任にあたっての挨拶をいただいた。

また、経済産業省産業技術環境局国際標準課基盤機械要素担当の瀬野容章様からも挨拶をいただいた。

3. プロジェクトの目的、今後の進め方・日程、試験方法案等概要説明

宮川幹事から、資料に基づき委員会の目的と活動の概要、国際標準化のメリット、水利用による省エネの効果、標準化のために採取すべきデータとその具体的モデル・数値例等について説明が行われた。また、3年間の年度計画、推進体制と5WGの編成・各実施内容、当面の本年度日程計画等についても説明を行った。

4. 同上 意見交換・検討・審議

5. 次回開催日確認、事務手続きなど

事務局から、委員長・委員委嘱状の配布及び、同就任承諾書の記入、提出をお願いした。

次回第2回：8月19日（火）機振会館6-61

~~~~~

広報・PR 事業

~~~~~

第109回編集委員会 WG

日 時 6月10日（水）14:00～17:00

場 所 機振会館B3-7会議室

出席者 前畑主査以下11名

事務局 大橋

議 事

① 60周年記念号 VOL. 30, NO. 3 技術編

技術編50記事は4/17～30に寄稿依頼済みであり、一記事のみ依頼先変更検討中である。寄稿申込が約半数未返送のため、編集委員経由の記事は確認を依頼した。また12月の入稿期限に向け、日程管理手順と以後の原稿確認の基準について事務局案及び入稿済み原稿例を基に審議した。

このほか全般編の「あらかると」記事について執筆候補者の提案状況を報告した。

② VOL. 28, NO. 3（夏号）及びVOL. 28, NO. 4（秋号）

原稿管理表に基づき進捗・企画編集状況の報告を行った。両号ともほぼ順調に推移している。

③ VOL. 30 年間企画及び記事提案

年間企画表に基づき、事務局から目次記事の充足状況を報告した後、各委員から新規記事提案状況の報告を受けた。連載記事「技術講座」「ミニ知識」「ずいひつ」は年間を通じて寄稿依頼済みであるが、新年号は挑戦記事が未定。ルポルタージュは新委員3名が順次担当する。夏号及び秋号は連載以外の単独記事がほぼ全数未定なため委員への追加提案を依頼した。

④ その他、懸案事項等

事務局から「ルポルタージュ記事作成手順（案）」を提案し次回以降検討することとした。
次回110回開催：9月11日（火）機振会館B3-7

~~~~~

振興対策事業

~~~~~

空気圧本部会・総会

日 時 6月2日（火）～3日（水）

場 所 伊豆長岡「三養荘」

出席者 富田本部長以下20名

事務局 藤原、唯根

議 事

平成27年度空気圧本部会総会を神奈川支部主催の下本部会及び全国7支部の支部長等が参加し開催された。富田本部長の開会の挨拶の後に、各支部の活動状況・活動予定について報告があった。また、事務局から5月に発表した需要見通し及び最近の関連業界の動向等について詳細な説明を行った。翌日は、伊豆大仁カントリー倶楽部で懇親ゴルフ会を開催した。

次回開催：9月10日（水）機振会館6-62会議室

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆社長の交代
(正会員)

タイヨーインタナショナル(株)から社長交代の連絡がありましたのでお知らせします。

平成27年6月19日付

タイヨーインタナショナル株式会社

(新任)

代表取締役社長 澤田 啓支朗

(退任)

取締役会長 澤田 敬之

☆社長の交代
(正会員)

KYB(株)から社長交代の連絡がありましたのでお知らせします。

平成27年6月24日付

KYB株式会社

(新任)

代表取締役社長 中島 康輔

(退任)

代表取締役会長 白井 政夫

~~~~~  
工業会ニュース  
~~~~~

☆経産省製造産業局産業機械課企画調整担当課長補佐の異動

今里和之前産業機械課長企画調整担当課長補佐は、6月23日付で経済産業政策局産業再生課企画調整担当課長補佐にご栄転されました。後任は、6月22日付で在インド日本大使館勤務であった深宮智史氏が企画調整課長補佐に就任されました。

6月23日付

今里和之前産業機械課課長補佐

→経済産業政策局経済産業再生課課長補佐

6月22日付

深宮智史産業機械課課長補佐

←在インド日本大使館

☆経済産業省製造産業局長の異動

黒田篤郎前製造産業局長は、6月17日付で大臣官房付に移動し、同日付で糟谷敏秀大臣官房総括審議官が就任されました。

6月17日付

黒田篤郎前製造産業局長

→大臣官房付

糟谷敏郎製造産業局長

←大臣官房総括審議官

☆日本機械工具工業会の発足

今般、超硬工具工業会と日本工具工業会が6月3日に統合され、「日本機械工具工業会」として発足した旨連絡がありましたのでお知らせします。なお、事務所は以下の通りです。

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町2丁目25番地

GYB秋葉原12階

日本機械工具工業会

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

*平成26年

☆7月8日(水)第2回中小企業委員会

(場所)川崎重工業(株)

西神戸工場

☆11月5日(木)西日本支部総会

(場所)未定

☆11月6日(金)西日本支部合同懇親ゴルフ会

(場所)未定

*平成28年

☆1月14日(木)年始会及び第76回理事会

(場所)東京プリンスホテル

~~~~~  
6月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

(国際交流事業)

国際委員会

開催日 6月24日(水)

出席者

委員長 澤田敬之(タイヨーインタナショナル)

委員 北島多門(SMC)

〃 大前 聡(KYB)

〃 澤田啓支朗(タイヨーインタナショナル)

〃 風間英朗(日本アキュムレータ)

〃 西本 茂(廣瀬バルブ工業)

〃 木村 早苗(イハラサイエンス)

〃 新開 諭(甲南電機)

〃 原沢 直季 (コガネイ)  
〃 湯原 真司 (CKD)  
〃 西田 昌弘・代理(三菱電線工業)  
〃 中嶋 匡 (経済産業省)  
アドバイザー部 嘉博 (経済産業省)

(標準化事業/ISO 対策事業)

ISO/TC131/SC4 (継手ホース) 分科会

開催日 6月12日 (金)

出席者

主査 宮下 暁 (横浜ゴム)  
委員 中林邦明 (ブリヂストンフローテック)  
〃 板井淳一 (横浜ゴム)  
〃 後藤邦彦 (日東工器)  
〃 小島 博 (十川ゴム)  
〃 梅津浩次 (油研工業)  
〃 小島研二 (日本ホース金具工業会)

平成 27 年度技術・標準化合同委員会

開催日 6月17日 (水)

出席者

標準化委員会委員長

梶本一典 (CKD)

技術委員会委員長

宮川新平 (KYB)

部会長 眞田一志 (横浜国立大学)

〃 伊藤和巳 (KYB)

〃 土井高司 (コガネイ)

委員 斉藤理人 (日本アキュムレータ)

〃 妹尾 満 (SMC)

〃 田中 広 (CKD)

〃 渋谷文昭 (東京計器)

〃 馬場賢司 (ボッシュ・レックスロス)

〃 樫本晴夫 (甲南電機)

〃 中林邦明 (ブリヂストンフローテック)

〃 嵯峨秀一 (ニッタ)

〃 土澤聡明 (コガネイ)

〃 小田敏裕 (甲南電機)

〃 一楽義彦 (大生工業)

〃 川口 葵 (阪上製作所)

〃 那須一文 (SMC)

〃 三浦孝夫 (アトラスコプコ)

〃 井之上紀章 (川崎重工業)

〃 市川雅司 (ダイキン工業)

〃 佐藤毅彦 (東京計器)

〃 加藤佳昭 (豊興工業)

〃 安木秀己 (油研工業)

ISO/TC131/WG4 (空気圧信頼性試験) 分科会

開催日 6月23日 (火)

出席者

主査 高橋浩爾 (上智大学)  
委員 中曾根祐司 (東京理科大学)  
〃 妹尾 満 (SMC)  
〃 高橋隆通 (甲南電機)  
〃 富田吉基 (CKD)  
〃 梅田浩輔 (クロダニューマティクス)

空気圧バルブ分科会

開催日 6月25日 (木)

出席者

主査 土澤聡明 (コガネイ)  
委員 河野喜之 (甲南電機)  
〃 丸山哲郎 (SMC)  
〃 中古 弘 (TAIYO)  
〃 夏目清辰 (CKD)  
〃 石毛浩二 (クロダニューマティクス)  
〃 大島章義 (アズビル TACO)

空気圧調質機器分科会

開催日 6月26日 (金)

出席者

主査 小田敏裕 (甲南電機)  
委員 三村 岳 (SMC)  
〃 土岐真人 (コガネイ)  
〃 高橋隆道 (甲南電機)

(標準化事業/規格事業)

空気圧システム分科会

開催日 6月1日 (金)

出席者

主査 張 護平 (SMC)  
委員 増尾秀三 (CKD)  
〃 神戸孝典 (甲南電機)  
〃 田中和彦 (TAIYO)  
〃 加藤猛美 (コガネイ)

エアドライヤ分科会

開催日 6月5日 (金)

出席者

主査 那須一文 (SMC)  
委員 間瀬達夫 (CKD)  
〃 竹内則久 (オリオン機械)  
〃 小山壽士 (日本精器)

JIS 原案作成本委員会

開催日 6月8日 (月)

出席者

委員長 香川利春 (東京工業大学)  
委員 北川 能 (東京工業大学)

- // 服部嘉博 (経済産業省)
- // 根岸喜代春 (経済産業省)
- // 宮崎正治 (日本規格協会)
- // 菊地治彦 (東芝機械)
- // 原口秀夫 (パナソニック)
- // 庄野勝彦 (日本産業機械工業会)
- // 妹尾 満 (SMC)
- // 長井敏和 (CKD)
- // 八手又秀浩 (日本ピスコ)
- // 齋藤 悠 (コガネイ)

フィルタ・作動油分科会

開催日 6月11日(木)

出席者

- 主 査 一楽義彦 (大生工業)
- 委 員 三好真介 (MORESCO)
- // 難波竹己 (日本ポール)
- // 富澤愛喜 (ボッシュ・レックスロス)
- // 一ノ瀬健夫 (SMC)
- // 大塚宏行 (油研工業)
- // 杉浦俊浩 (コスモ石油ルブリカンツ)

(技術調査事業)

技術委員会水圧部会

開催日 6月19日(金)

出席者

- 部会長 宮川新平 (KYB)
- 委 員 大林義博 (KYB)
- // 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
- // 村田秀紀 (阪上製作所)
- // 鳥居良介 (阪上製作所)
- // 柿木宗久 (タイヨーインタナショナル)
- // 村上康裕 (ADS ムラカミ)

技術委員会空気圧部会第512回特許分科会

開催日 6月26日(金)

出席者

- 幹 事 赤松直人 (甲南電機)
- 委 員 伊東淳一 (アズビルTACO)
- // 井野雅康 (SMC)
- // 出澤 大 (クロダニューマティクス)
- // 佐藤 浩 (コガネイ)
- // 甲山登紀夫 (CKD)

ADS 国際標準化推進委員会

開催日 6月30日(火)

出席者

- 委員長 山口 惇 (横浜国立大学)
- 幹 事 宮川新平 (KYB)
- 委 員 眞田一志 (横浜国立大学)

- // 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)
- // 飯尾昭一郎 (信州大学)
- // 鈴木健児 (神奈川大学)
- // 一柳隆義 (防衛大学)
- // 吉田太志 (KYB)
- // 仙田雅晃 (廣瀬バルブ工業)
- // 村田秀紀 (阪上製作所)
- // 鳥居良介 (阪上製作所)
- // 細井耕平 (堀内機械)
- // 黒須 寛 (イハラサイエンス)

オブザーバー 瀬野容章 (経済産業省)  
オブザーバー 近藤千奈美 (コンテックス)

(広報・PR 関連事業)

第109回編集委員会WG

開催日 6月10日(水)

出席者

- 主 査 前畑一英 (KYB)
- 副委員長 水野純一 (CKD)
- 委 員 大久保俊克 (阪上製作所)
- // 神戸孝典 (甲南電機)
- // 仲野崇行 (コガネイ)
- // 高崎邦彦 (TAIYO)
- // 豊田敏久 (川崎重工業)
- // 永井茂和 (SMC)
- // 宮 能治 (KYB)
- // 宮坂 篤 (油研工業)
- // 諸橋 博 (東京計器)

(振興対策事業)

空気圧本部会

開催日 6月2日(火)～3日(水)

出席者

- 委員長 富田勝憲 (SMC)
- 副 湯原真司 (CKD)
- 幹 事 中村賢次 (ニューエラー)
- 委 員 安藤一義 (クロダニューマティクス)
- // 長谷川靖 (甲南電機)
- // 川崎久士 (コガネイ)
- // 荒木良朗 (TAIYO)
- // 澤田啓支朗

(タイヨーインタナショナル)

以下、空気圧本部会支部総会出席者

神奈川支部

- 副支部長 山田賢一 (CKD)
- 幹 事 吉野直純 (SMC)
- 委 員 下島右文 (コガネイ)
- // 菱沼昌宏 (SMC)
- // 岩崎直人 (CKD)
- 補 佐 松本 誠 (コガネイ)



東北支部 林 淳一 (コガネイ)  
東京支部 三枝敏司 (SMC)  
名古屋支部 中垣智英 (甲南電機)  
大阪支部 齋藤義孝 (コガネイ)  
広島支部 藤井賢太郎 (CKD)  
九州支部 緒方昭典 (SMC)

・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会  
26日 (金)  
・ISO (委) 空気調質機器分科会  
・技術 (委) 空気圧部会第512回特許分科会  
30日 (火)  
・技術 (委) ADS 国際標準化委員会 (仮称)

産機・建機合同部会

開催日 6月9日 (火)

出席者

産機

委員 北村嘉之 (KYB)  
〃 寺田 稔 (ダイキン工業)  
〃 田中久也 (東京計器)

建機

部会長 石井 剛 (KYB)  
委員 月岡 敦 (川崎重工業)  
〃 谷口正人 (島津製作所)  
〃 橘高道治 (ダイキン・ザウアーダンフォース)

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<6月>

1日 (月)  
・標準化 (委) 空気圧システム分科会  
2日 (火) ~3日 (水)  
・振興対策 空気圧本部会総会/伊豆長岡  
5日 (金)  
・エアドライヤ分科会  
8日 (月)  
・標準化 (委) JIS 原案作成本委員会  
9日 (火)  
・振興対策 産機・建機合同部会  
10日 (水)  
・第109回編集 (委) WG  
11日 (木)  
・標準化 (委) フィルタ作動油分科会  
12日 (金)  
・標準化 (委) 継手・ホース分科会  
17日 (水)  
・技術/標準化合同委員会  
19日 (金)  
・技術 (委) 水圧部会  
23日 (火)  
・ISO/TC131/WG4 (空気圧信頼性試験) 分科会  
24日 (水)  
・国際交流 (委) 国際委員会及び講演会  
25日 (木)

